

防災・安全交付金
札幌圏都市計画道路事業
3・4・198号 新琴似3番通

第24回 札幌市公共事業評価検討委員会

個別評価調書

建設局土木部道路課

事業種別	街路事業		番号	事業名	防災・安全交付金 札幌圏都市計画道路事業 3・4・198号 新琴似3番通				
事業の概要 及び目的	本路線は、広域交流拠点である「麻生・新琴似地区」及びJR新琴似駅、地下鉄麻生駅へのアクセス道路となっており、通勤・通学に広く利用されるバス路線である。本路線は、車道・歩道ともに現況幅員が十分ではなく、冬期間の交通混雑やバスの定時性の確保が課題となっており、地元住民からも早期事業着手を強く望んできた路線である。 本事業では、新琴似および麻生地区における冬期交通の円滑化および地域連絡網の強化を目的として、道路拡幅整備を行うものである。								
対象事業 選定理由	事業 採択年度	工事等 着手年度	当初完了 予定年度	完了 予定年度	経過 年数	総事業費 (補助率)	事業費 累計	進捗率	残 事業費
②	H23	H23	H30	R5	10	百万円 5,032 60%	百万円 3,563	% 71	百万円 1,469
B/C (費用便益比)		内 訳 等							
1.2		費用 総費用 : 5,410百万円			便益 総便益 : 6,514百万円			その他 評価基準年度 : 令和2年度 評価対象期間 : 平成23年度 ~令和55年度	
算出手法 : 費用便益分析マニュアル(平成30年2月)		事業費 : 5,401百万円 維持管理費 : 9百万円 (整備後50年間)			走行時間短縮便益 : 5,823百万円 走行経費短縮便益 : 583百万円 事故減少便益 : 108百万円				
要領に基づく点検事項		点 検 内 容							
(1) 事業の必要性に関する視点	①事業を巡る社会経済状況等の変化	昭和54年度 琴似・栄町通(新琴似2番線~西5丁目樽川通間)整備完了 昭和61年度 新琴似通(新琴似2番線~西5丁目樽川通間間)整備完了 平成21年度 新琴似駅前土地区画整理事業完了 西5丁目樽川通(琴似・栄町通交差点部)事業中							
	②事業の投資効果	(B/Cで考慮されている効果) ・円滑な交通の確保(周辺路線の交通混雑の緩和含む) ・交通事故の減少 (B/Cでは計れない効果) ・歩車道拡幅による自転車利便性の向上、良好な歩行空間の創出 ・堆雪スペース確保による冬期交通環境の改善							
	③事業の進捗状況	・令和元年度末までに新琴似通から200mの区間で整備が完了している。今後、琴似・栄町通まで780mの範囲を整備し、令和5年度に供用開始する予定である。 ・現在、用地買収が1件残っている。							
(2) 事業の進捗の見込みの視点	残る1件の用地買収を進めるとともに、残りの区間の道路整備を進めて令和5年度までに事業完了する予定である。								
(3) コスト削減や代替案立案等の可能性の視点	資材の選定にあたっては、再生材(アスファルト等)の使用など、積極的なコスト削減に取り組んでいる。								
(4) その他(環境配慮や地元調整状況等)	・工事の実施にあたり、建設副産物の再資源化など環境負荷の低減に取り組んでいる。 ・地元町内会や沿道の方々へ事業進捗状況等の情報提供を行いながら事業を進めている。								
対応方針	評 価 理 由								
継 続	未整備区間の整備により高い事業効果が見込まれることから、事業を継続する。								

※対象事業選定理由については、下記のいずれかの番号を記入。
 ①……事業採択後、一定期間が経過した時点で未着工の事業(一定期間とは5年間)
 ②……事業採択後、長期間が経過した時点で継続中の事業(長期間とは補助事業においては5年間、交付金事業においては10年間、継続中の事業には一部供用されている事業を含む)
 ③……準備・計画段階で一定期間が経過している事業(一定期間とは5年間)
 ④……再評価実施後、一定期間が経過している事業(一定期間とは5年間、交付金事業における下水道事業は10年間)
 ⑤……社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要性が生じた事業

※対応方針については、「継続」「見直し継続」「中止」のいずれかを記入。

個別評価調書資料

局 部 課

事業種別	街路事業	事業名	防災・安全交付金 札幌圏都市計画道路事業 3・4・198号 新琴似3番通
------	------	-----	--------------------------------------

事業着手の契機等	<p>本路線は、広域交流拠点である「麻生・新琴似地区」及びJR新琴似駅、地下鉄麻生駅へのアクセス道路となっており、通勤・通学に広く利用されるバス路線である。本路線は、車道・歩道ともに現況幅員が十分ではなく、冬期間の交通混雑やバスの定時性の確保が課題となっており、地元住民からも早期事業着手を強く望んできた路線である。</p> <p>本事業では、新琴似および麻生地区における冬期交通の円滑化および地域連絡網の強化を目的として、道路拡幅整備を行うものである。</p>
----------	---

整備水準の選定	<p>・平成18年度に実施したパーソントリップ調査の結果を基に推計した将来推計交通量（令和12年）に対応できる規格で整備を行っている。</p>
---------	---

事業の経緯	<p>●——● 評価年度以前の事業実施状況</p> <p>●.....● 評価年度以後の事業進捗状況（見込み）</p> <p>◆ 開始年度</p> <p>✿ 完了年度</p>
-------	---

	用地 補償	工 事	関係機関協議		進捗率 (%)		協 議 内 容
			公安 委員会	電 線 管 理 者	事業 費	事業 量	
(事業採択)							
平成 23	◆		◆	◆	0	0	
平成 24	◆		◆	◆	3	0	
平成 25	◆		◆	◆	8	0	
平成 26	◆		●	●	27	0	公安委員会 北海道警察本部交通規制課 ・交差点協議、交通規制協議
平成 27	◆		●	●	35	0	
平成 28	◆		●	●	43	0	電線管理者 北海道電力㈱ ㈱NTT東日本-北海道 ・配線計画について協議
平成 29	◆		●	●	53	0	
平成 30	◆		◆	◆	63	0	
令和 元	◆	◆	◆	◆	71	20	
令和 2	●	●	●	●	78	41	
令和 3	✿✿●●	85	55	
令和 4 (完了予定)	✿●●	93	71	
令和 5		✿	✿	✿	100	100	

備 考	
-----	--